

キャラクター名 プレイヤー名

流行水 瑞希 (はやみみずき)

シンドローム	キュマイラ サラマンダー		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	シスター
	ノイマン					
オプション	年齢		25	性別		女
覚醒	生誕	衝動	飢餓	初期侵食率		31 %
出自	疎まれた子	経験	死と再生	邂逅	借り	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	37
肉体	5	1	2			8	行動値	3
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
タイダルネイル	白兵	8r+4	1	LV+8		(破壊の爪) 素手データ変更
ウェーブネイル	白兵	8r+2	6	LV+6		(氷炎の剣) 武器作成
アクア・ダブルクロス	白兵	8r+2	7	18		C値8、単体、コスト7 (マイナー+6)
アクア・ダブルクロス (80↑)	白兵	6r+2	7	22		C値8、単体、コスト11

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
レザージャケット	4	2			革製の頑丈なジャケット、戦闘時に羽織る

所持品		合計装甲:		合計回避:	
コネ: 情報屋		2	0		

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
神父	P 信頼	N 劣等感		
親族	P 慕情	N 憎悪		
マッドブアッフアロー	P 連帯感	N 贖い		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	6	残り財産P:	1
--------	---	--------	---

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	右手を青竜の爪に変化させる EAp59							
氷炎の剣	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	大気中の水分を凍らせ、左手に青竜の爪を模した武器を生み出す EAp107							
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-LV (下限7) EAp129							
マルチウェポン	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	二つの武器を同時に扱う<白兵/射撃>達成値 [LV-5] (同じ技能の二つの武器の攻撃力と効果を合計して使用できる) EAp93							
炎の刃	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	爪に青竜の力を宿し、断罪の炎で敵を焼く<白兵/射撃> 攻+[LV×2] EAp109							
クロスバースト	1	4	メジャー	-	-	対決	80↑	
効果:	右手に灼熱の贖いを、左手に凍てつく戒めを 攻+[LV×4]ダイス-2<シンドローム> EAp109							
海の恩恵	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	水中で自由に過ごすことができる、水中によるペナルティを受けない							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「私は、私という存在自体を贖わねばなりません
 そのためにこの身が焼かれ、心が凍てつき、朽ち果てようとも
 この身に宿る青龍の神よ！いまこそ断罪の爪を与えたまえ！」

—ストーリー—
 私が産まれた時、背中に青く小さな龍の翼が生えていました。
 それをみた親族たちはひどく驚き、私を「悪魔の子」と罵り、殺してしまおうとしたそうです。
 私が中学校に上がる頃、両親が死にました。私は故郷で居場所を失い、ふらふらと彷徨い歩き、そして悪の結社に身をあずけることにしました。
 それは人間を憎む私の、醜く弱い心のせいでした。

そこで私は数々の罪を背負いました。
 弱き者から略奪し、命を殺め、それで憎しみを晴らそうとしていたのです。
 しかし、いつまでたっても心の隙間は埋まりません。

ある日、私は仲間の裏切りによって生死を彷徨いました。
 彷徨いながら、私は殺されても仕方ない人間なんだと、ぼんやりと考えていました。
 しかし目を開くと、私はまた私のままで、この世界に戻ってきていたのです。
 「罪を贖わなければ」
 その日、私は、神にそう誓ったのです。

青竜の爪を両手に宿し、敵を十字に切り裂く。
 この十字は、悪の結社(FHセル)「マッドブアッフアロー」の一員だった過去への戒めでもある。